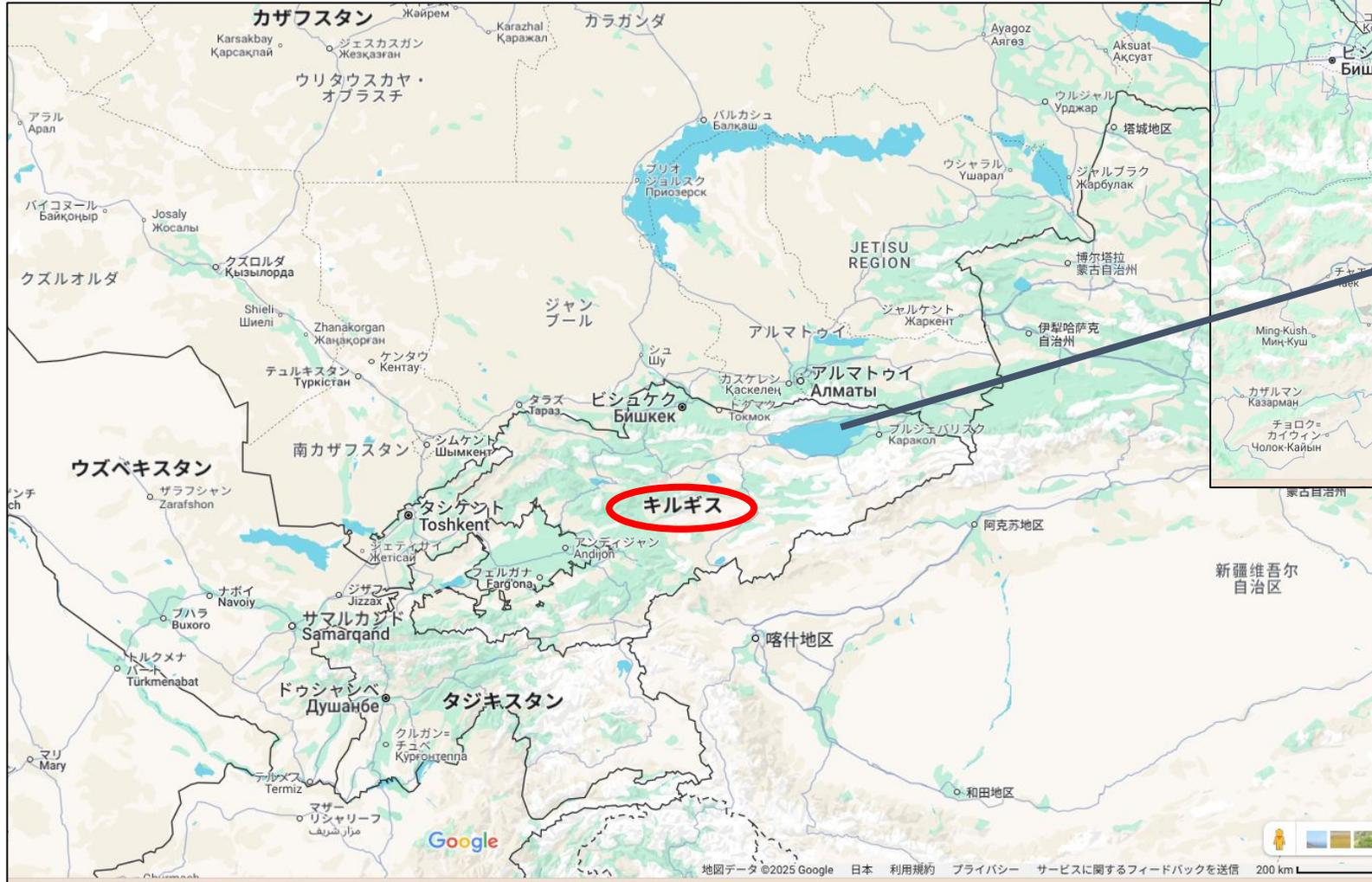


キルギス共和国の日本人抑留地：タムガ村



キルギス共和国の概要

人口：680万人

面積：19万8,500km²

(日本の約半分)

首都：ビシュケク

主要産業：農業、畜産、鉱業など

在留邦人数：122人

1991年に国家共和国独立宣言

1. 舞鶴市代表団のキルギス共和国訪問

(1) 日程: 令和7年8月16日から19日(帰国は20日)

(2) メンバー:

舞鶴市長 鴨田 秋津

産業振興部長 小島 宏

引揚記念館主幹(学芸員) 松本 達也

(3) 主な内容:

- ・日本人抑留地であるタムガ村保養所の視察
- ・同保養所に展示されている抑留関連資料の借用
- ・キルギスでの日本人抑留に関する調査
- ・キルギス政府関係者との面談

(4) 行程:

8月16日(土) 関西空港→北京経由→ビシュケク

8月17日(日) タムガ村の視察

8月18日(月) キルギス政府関係者との面談等

8月19日(火) 同上 夕刻帰途へ

8月20日(水) 北京経由→関西空港

キルギス共和国タムガ村

趣旨

引揚記念館でキルギス共和国での抑留に関する資料がないため、現地を学芸員が訪問し資料調査を実施する。

現状

シベリア抑留(キルギス共和国)で建築された保養所(サナトリウム)がタムガ村に残っており、現在も使われている。保養所内には平和センターがあり、日本人抑留に関する資料が展示してある。

2. 資料調査した結果を「速報展」として公開予定

キルギス共和国政府、タムガ村、駐日キルギス共和国大使館および実際の抑留関係者の協力を得て、準備が整い次第、戦後80年・ユネスコ世界記憶遺産登録10周年事業の一環として、キルギス日本人抑留調査「速報展」を引揚記念館で開催します。

日程等詳細につきまして、改めてお知らせいたします。



問い合わせ先

事業名	担当課	担当者	電話番号	FAX番号	メールアドレス
引揚の史実がつなぐキルギス共和国と舞鶴市	舞鶴引揚記念館	嵯峨根 松本	0773-68-0836	0773-68-0370	hikiage@city.maizuru.lg.jp